**家畜衛生情報**

**平成21年12月22日発行**

**県央家保だより**

**☆新型インフルエンザについて☆**

10月21日、大阪府内の養豚場で新型インフルエンザ感染疑いの豚が発見され、H亜型・N亜型の遺伝子解析を行った結果、本病と確定され移動自粛要請が出されました。

なお、2日後には当該農場の清浄性が確認されましたので、移動自粛要請は解除されました。

**どんぐり.gifインフルエンザとは？**

　インフルエンザウイルスによる感染症。この中で問題となるA型インフルエンザウイルスの自然宿主は水禽類(カモ等)であり、**豚は鳥や人からも感染します。**

インフルエンザウイルスは変異しやすく、様々な型が出現します。

**どんぐり.gif感染すると…**

豚に症状が現れるのは感染後約3日目からです。致死率は低く、7～10日ほどで回復する場合が多いですが、その間ウイルスを排泄し、くしゃみ、鼻水などの飛沫により他の個体への感染源となります。

ウイルスが分離されるのは呼吸器系のみで、血中や全身感染はありません。

**pig.gif**症状：発熱、くしゃみ、鼻水、下痢、食欲減退など。

**肉・肉加工品は安全です!!**

肉からはウイルスが分離されません。

また、万が一付着していたとしても、このウイルスは熱や酸に弱いため、加熱や胃酸で死滅すると言われています。

**予防するには？**

**どんぐり.gif**

①豚舎や長靴、機材などの消毒。

②豚舎ごとに専任の飼養者を指定。

　・従業員が複数の豚舎を移動することを避ける。

　・豚舎の入退室時の消毒を徹底。

③部外者の立ち入りを制限。

**どんぐり.gif**

**豚が感染してしまったら？**

**ぶた３.gif**豚舎間での人、物の移動を制限し、消毒を強化する。

　飼養者のマスク、手洗い、消毒を徹底してください。

**どんぐり.gifどんな消毒薬が効果的？**

逆性石けん、塩素系製剤、アルコール製剤、アルデヒド製剤など、ほとんどの消毒剤が有効です。消石灰も効果が期待できます。

効果的に使用するため、使用前に充分水洗して有機物を除いてください。

**C:\Program Files\Microsoft Office\MEDIA\CAGCAT10\j0229389.wmf**

**豚が新型インフルエンザに感染した疑いのある場合、獣医師や家畜保健衛生所にお知らせください。状況の把握・まん延防止のために御協力お願いします。**

**☆寒冷対策☆**

寒さの厳しい季節となりました。低温ストレスによる生産性の低下、疾病への感染を予防するために、防寒対策を工夫してみてください。

**牛**

　**保温**

|  |  |
| --- | --- |
| 牛の好適温度 | |
| 成牛 | 10～15℃ |
| 育成牛 | 4～20℃ |
| 哺育牛 | 13～25℃ |

仕切り、扉、屋根などの設置による防風対策とともに、床にお風呂用のマットを敷く、牛房の周りをビニールシートで覆う、赤外線ランプ点灯、子牛にフリースや毛布などを着せる…等、保温の工夫を。

晴れた日には日光浴をさせる事で体温を上げるだけでなく殺菌、ストレス軽減、受胎率向上に効果があります。

　敷料交換や清掃を励行して牛体を乾燥させることも重要です。

**換気**

　糞尿からのアンモニアガス、メタンガス、窒素ガス等が充満すると肺炎などの原因となるため、充分に換気をおこなってください。

**飲料水について**

　水道管の凍結による断水や漏水、また水温低下による飲水量の低下に注意してください。水道管を保温材で覆う、恒温水槽の設置、温水給与、冬場も比較的一定温度に保たれる地下水の利用などが効果的です。また清潔な水が供給できるような環境づくりも必要です。

**豚**

buta1.bmp

|  |  |
| --- | --- |
| 豚の好適温度 | |
| 哺乳期間 | 30～32℃ |
| 移動時 | 28℃ |
| 体重10kg時 | 25℃ |
| 体重20kg時 | 22℃ |
| 母豚 | 20℃前後 |

**　保温**

　子豚の快適温度を保持することが重要です。子豚は寒冷環境に弱く、気温が低いと暖を求めて母豚のそばを離れないために圧死事故にもつながります。ただし、母豚にとって高温になり過ぎると泌乳量の低下などを引き起こすので注意してください。

子豚用に保温箱や保温マットを利用することが有効です。

**　湿度の確認**

　湿度の適正範囲は60～80％です。豚舎内に温湿度計を設置し朝夕確認してください。また、換気にも注意してください。

**脱水への対策**

　子豚は尿を濃縮する腎臓機能が未熟なため脱水しやすく、下痢や保温器具が高温になりすぎる等により容易に脱水が起こります。電解質水の投与等による症状の改善が必要です。

C:\Documents and Settings\u111175\Local Settings\Temporary Internet Files\Content.IE5\2LQTCXGF\MCj04399650000[1].wmf

**栃木県県央家畜保健衛生所**

**〒321－0905　宇都宮市平出工業団地6-8　　 E-mail :** [**kenou-khe@pref.tochigi.lg.jp**](mailto:kenou-khe@pref.tochigi.lg.jp)

**TEL ：028－689－1200 　 　　　　　　　 FAX 　：028－689－1279**

**◇ＴＥＬ ０２８－６８９－１２００** **◇ＦＡＸ ０２８－６８９－１２７９**